

の大軍と勝負を争ふ一人義光は語て曰
先年元月西原郡と白鳥十郎と吾合の時
東海林六十里志津村に夜討し元月の大
軍を軍人惣子兄弟十六人まで追崩散を
討し事多し元月領を勇猛に取れて二度
云をまゝめむと戦功よりてこの年の出仕
をとりて軍人共なりし水沢郡に山崎根次
保古折村おといふ救う所を領を孫助なく
して彼と戦ひて布て味方を失ふとい
へり依る軍監一呼斬が智謀まで月山の

峯城は羽黒に入山籠を切つとい持川は忠
入日吉を始東海林一家の女候を人質と
しられば軍人かなく一つは勢義光と和
睦の契約をなす一救う所の隙を破りて始
て義光をる君と一平均の沙汰は及と云

一八 沼館

山形の西より阿久志より他を館なり義光
招めしにふ背依る討ちを向ふれし小室
加茂とつといふ奔おあり強弓よりて歎を
多討し羽黒ふ石碓の年寛といふ流石師